

小川駅西口複合施設（愛称：小川パレット）ロゴマーク募集イベント 想いを描くロゴデザイン&愛称表彰式開催報告

日時：令和8年1月24日（土）13時30分～16時00分

場所：職能開発総合大学校3号館

令和8年度秋頃オープン予定の小川駅西口複合施設の愛称が、公募により、「小川パレット」に決定しました。愛称決定を祝い、愛称考案者の方々への表彰式を開催しました。

また、ロゴマークの募集につなげるイベントとして、アートディレクターの永井 裕明先生とコピーライターの瀬戸 忠保先生を講師にお迎えし、セミナーとミニワークショップを開催しました。

1 愛称表彰式

表彰式では最終候補に残った3作品の考案者の方にお越しいただき、市長から愛称の発表と表彰状の授与を行いました。

また、令和7年8月2日に開催した愛称募集イベントの講師を務められ、幅広い分野でのコーピーライティングに携わられている瀬戸忠保先生にもご挨拶いただきました

瀬戸忠保先生のご挨拶より（以下、抜粋）

- ・愛称を決めるための投票を行うにあたり、タイプの異なる3種類の愛称候補が最終選考に残ったと思います。
- ・本日表彰された方々が、そのような選択肢を提供してくださったことで、愛称を投票するうえでの選択に豊かさがもたらされたと感じます。
- ・最終的に選ばれた「小川パレット」は、今後、応募者の手を離れて、みんなのものになっていくことになります。その変化、プロセスも楽しんでいただければと思います。



市長と受賞者の方々

表彰式では、瀬戸先生に
ご挨拶いただきました。



小平市シンボルキャラクター「ぶるべー

2 ロゴマーク募集イベント 想いを描くロゴデザイン

佐川急便の広告デザインなどを手がけられた永井裕明先生を講師にお迎えし、瀬戸忠保先生が聞き手とし、対談形式でセミナーを開催しました。永井先生より、実際にご自身が携わられたロゴなどを提示いただき、ロゴデザインの楽しさや考え方のコツをお話しいただきました。

永井裕明先生の講話より（以下、抜粋）

- ・ロゴは、今回のイベントタイトルにもあるとおり、「想いを描く」ことがとても大事。
- ・完璧で格好良いものが人の気持ちをつかむというわけではない。上手さは、あくまで付加価値の1つに過ぎない。人の心をつかむのは、もっと別のもの。正解はない世界。
- ・物真似では良いものは出来ない。なぜなら、想いをカタチにしたものではなくなるから。
- ・ロゴマークをつくった人が、そのロゴの一番のファン、というのが良い。自分が見たいものを創る。
- ・私の場合は、例えば箸袋やチラシの裏など、何でも良いので、まず描いてみる。描くと、次のアイデアが湧いてくる。頭の中だけではうまくいかない。
どうしても上手く描こうとしてしまうが、上手く描こうとするとテンションが下がってしまう。うまく描かないことで、アイデアが自由に出やすくなる。やり方を含め、型にはまらなくていい。
- ・自分が何を表現したいのか。その気持ちをカタチにして、眺めてみる。
- ・「創る自分」と「眺める（選ぶ）自分」がいる。
- ・そのロゴマークが使われているシーンを思い浮かべてみる。
- ・心がなければ創れない、技術がなければ造れない。



永井先生と瀬戸先生のセミナーの様子



ワークショップの様子



ワークショップでは、みんなで描いたロゴマークに、
永井先生よりコメントをいただきました！